

市町村名	渡名喜村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	環境保全美化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
担当部署名	経済課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光リゾート産業の振興		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	24,756	30,140	31,800	43,670	36,585
		(b) 予算現額	24,682	25,520	31,107	35,492	34,824
		(c) 増減額(b-a)	-74	-4,620	-693	-8,178	-1,761
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	24,682	25,520	31,107	35,492	34,824
		B. 執行済額	24,682	25,040	30,346	35,492	34,824
		うち交付金充当額	19,745	20,032	24,275	28,392	27,859
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	98.1%	97.6%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	作業員の人数確保に苦労した部分はあった。また、物価高騰により一部箇所の見直しを行い指定箇所全てを履行することができ執行率も100%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	緑化及び美化活動実施箇所	目 標	(17箇所)	(14箇所)	(14箇所)	(14箇所)	
		実 績	18箇所	14箇所	14箇所	14箇所	
	外来植物駆除実施箇所	目 標	(10箇所)	(9箇所)	(9箇所)	(9箇所)	
		実 績	10箇所	9箇所	9箇所	9箇所	
	在来植物保全育成実施箇所	目 標	(1箇所)	(1箇所)	(1箇所)	(1箇所)	
		実 績	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
	集落内美化	目 標	(88箇所)	(40箇所)	(41箇所)	(41箇所)	
		実 績	40箇所	40箇所	41箇所	41箇所	
	目 標						
	実 績						
達成 状況 説明	今年度の目標どおりに、集落内41箇所、集落外24箇所、全て安定的な景観・美化の維持が出来た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		100%	85%	87%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	・観光客の満足度については、フェリー待合所で調査を実施した。4月～3月までのアンケートを集計した結果、目標である87%の観光客から満足したとの回答が得られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・環境保全・美化推進事業において、島内の主要箇所を中心に綺麗に整備することで訪れる方々を癒し、また来たいと思ってもらえたことが目標達成の要因と考えられる。 ・入域観光客数についても、前年度の1,093人から1,209人となっており、増加となっている。	・事前に実施工程等の確認など連携することで、効果的な事業実施を目指す。 ・成果目標については、アンケート調査以外に効果的な目標設定が難しいため、現状のままアンケート調査を継続する。
今後の取り組み方針		
・受託業者と施工監理の共有や優先順位の確認の強化を進めるほか、定期的な進捗状況の確認に取組み、魅力的景観形成に繋げる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>34,824</td><td>34,824</td><td>27,859</td><td>6,965</td><td>0</td></tr> </table> 渡名喜村 34,824千円 委託料 34,824千円 大友建設(株) 34,824千円 環境保全・美化推進事業委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	34,824	34,824	27,859	6,965	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
34,824	34,824	27,859	6,965	0										
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○島内において受託可能業者が限られることから、指名競争入札により選定している。 ○作業場所の面積を割り出し、実施回数及び1回あたりの施工日数も算出していることから適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡名喜村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	離島苦解消移動手段安定化対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章—2—(8)—ア		
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成25年度 ～ 令和13年度			人流・物流コスト低減と情報通 信基盤の強化		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ—9—(2)		
事業内容	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリー欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を、一部補助する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	2,400	2,400	2,400	3,200	3,200	
		(b)予算現額	720	288	2,240	2,240	640	
		(c)増減額(b-a)	-1,680	-2,112	-160	-960	-2,560	
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)	720	288	2,240	2,240	640	
	B. 執行済額		864	720	288	1,152	0	
	うち交付金充当額		691	576	230	922	0	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		120.0%	250.0%	12.9%	51.4%	0.0%	
予算の状況の説明		支援するフライト回数が当初計画を下回る見込みとなったことから、2月に減額補正(▲2,560千円)を行ったが、フェリー欠航時に本事業以外からのヘリタクシー予約が殺到し、事業遂行困難となったため、全額不用となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光客及び島民に対するフライト実施 の支援回数50回	目 標	(50回)	(50回)	(50回)	(50回)		
		実 績	6回	18回	10回	0回		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	フェリー欠航時において、本事業以外の利用者からのヘリタクシー利用が集中した結果、予約が取れずに搭乗が不可能となり、本事業の遂行が困難となった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシー の運賃補助を行うことで、利便性が確保された か(80%以上)を含めて当該事業のあり方をア ンケートで検証する。	目 標	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		100%	100%	0%		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	フェリー欠航時において、本事業以外の利用者からのヘリタクシー利用が集中した結果、予約が取れずに搭乗が不可能となり、本事業の遂行が困難となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	フェリー欠航時は、本村以外の周辺離島の利用者も含めて予約が殺到することから、キャンセル待ちの状態になり、フライトの確保が課題である。	事前予約の検討や、1日のフライト回数について事業者と調整を行い、周辺離島を含め、平等に運航できるよう協議を進め、一定数のフライトを確保したい。
今後の取り組み方針		
渡名喜発の1日のフライト回数を一定数確保できるよう、運行事業と調整を行い、多くの利用者の利便性の向上に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
0	0	0	0	0

渡名喜村

補助金

エクセル航空株式会社

（フライト料金の6割補助）

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内で民間へリ輸送を行っている業者はエクセル航空のみであり、選定についても適正である。
	×	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○周辺離島との料金差を考慮して補助額を決定し、所要額を算出したものの、事業期間内のフライトキャンセル等により遂行困難となったため、不用額が生じた。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、補助金交付規則に沿っており、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は、本事業のフライト料金のみ限定している。

市町村名	渡名喜村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	渡名喜村自動車航送運賃低減化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-7	
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和6年度～14年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	交通コスト等の低減	
事業内容	村民が沖縄本島及び久米島町へ移動しやすい環境を構築することで、離島における定住環境の改善を図るため、渡名喜村～久米島町～泊港間の車両航送利用者に対し、運賃を半額補助する。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	1,862				
		(b) 予算現額	1,862				
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	1,862	0	0	0	0
	B. 執行済額		1,128				
	うち交付金充当額		902				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		60.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		期中(R6年7月)での開始及び認知に時間を要したため、令和6年度については執行率60.6%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	年間車両航送台数:自動車	目 標	180台				
		実 績	115台				
	年間車両航送台数:バイク	目 標	30台				
		実 績	1台				
達成 状 況 説 明	令和6年度達成状況については、期中(R6年7月)での開始及び認知に時間を要したため、自動車:115台/180台(63.9%)、バイク:1台/30台(3.3%)となった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	目標値 (14年度)
	沖縄本島及び久米島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	80%				
		実 績	98.30%				
	【参考指標】 無し	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	・申込用紙にアンケートも組み入れることで、アンケート回収率(アンケート回答者数/利用者数)は、100%となった。 ・アンケートは5段階(大変満足している・満足している・まあまあ満足している・やや不満・不満)で設定しており、「大変満足している・満足している」との回答が98.3%、「まあまあ満足している」との回答が1.7%、「やや不満・不満」との回答が0%となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・活動目標については、期中(R6年7月)での開始及び認知に時間を要したため、未達となった。 ・成果目標については、本事業の利用理由の多くが「買い物」「医療(通院等)」「車両の車検や修理」等生活に必要な移動であり、離島住民にとって住環境改善につながったことが、目標達成の要因と考えられる。	・利用者の増加に向けて、本事業の周知を図る。 ・更なる満足度向上に向けて、申請等での利便性向上を図る。
今後の取り組み方針		
・利用者の増加に向けて、本事業の効果的な周知方法を検討する。 ・満足度向上に向けて、申請や振込等の効率的な運営方法を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,128</td><td>1,128</td><td>902</td><td>226</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,128	1,128	902	226	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,128	1,128	902	226	0										
渡名喜村 1,128千円 補助金 1,128千円 航路事業者 1,128千円 住民への自動車航送運賃低減相当額に係る補助金														

資金の流 れ、費 用、 点検 ・評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については公益性があり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○今年度は期中(R6年7月)での開始のため執行率が低調となったが、予算規模は概ね妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者(島民)は、50%を負担しており、事業内容から判断し、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○使途については、受付時に疎明資料として領収書を受領しており、必要なものに限定されている。

市町村名	渡名喜村										
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-①		環境衛生処理事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-1-(1)-イ		
担当部課名	民生課			事業実施 (予定)年度	令和6年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		社会生活における資源循環の 推進		
事業内容	循環型社会の形成を図るため、生ごみ処理機を導入し、生ごみの島内処理体制を構築する。										
効果発現年度	■当年度 ■後年度(年度)										
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		
			R10年度								
			(a)当初予算額		23,331						
			(b)予算現額		22,418						
			(c)増減額(b-a)		-913		0		0		
	(d)繰越額										
	A.計(b+d)		22,418		0		0		0		
	B.執行済額		22,418								
	うち交付金充当額		17,934								
	次年度繰越額										
執行率(%) (B/A)		100.0%		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!			
予算の状況の説明		執行率100%であり、計画とおり執行できた。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況							
				R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	
	生ごみ処理機等の設置完了、安定した稼働を実施			目 標	(設置・稼働 (1基))	()	()	()			
				実 績	設置・稼働 (1基)						
				目 標	()	()	()	()			
				実 績							
達成 状況 説明	R7年3月に生ごみ処理施設に設置完了し、稼働を開始した。										
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (年度)			
	生ごみ処理機及び関連機器を導入し、生ごみ 処理の島内処理体制を構築			目 標	() (導入・構築 (1基))	()	()	()			
				実 績		導入・構築 (1基)					
	【参考指標】 供用開始後の成果目標:生ごみの減量化(安 定的な稼働を行い、ボランティアや、農家に対 して、処理により作られた堆肥を提供)			目 標	() ()	()	()	()			
				実 績							
	進 捗 状況 説明	生ごみ処理機及び関連機器を渡名喜村生ごみ処理場へ設置した。 令和7年3月より安定した稼働を行っている。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	これまで人力での作業を行っていたが、作業効率と安全性の向上を目的として生ごみ処理及び関連機器を導入した。 今後の課題として、農業従事者が安心して使用出来るように堆肥化した肥料の成分分析を実施し、生ごみ処理体制の確立が課題である。	生ごみ処理機で生成された堆肥を農業委員会等を通じて周知を行い、農業従事者にどのように配布するのか検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
生ごみ処理に伴う堆肥の成分分析に取り組み、広報誌やチラシ等の配布による呼びかけを行い、肥料として有効活用を進めることにより、島内の循環型社会の形成を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>22,418</td><td>22,418</td><td>17,934</td><td>4,484</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	22,418	22,418	17,934	4,484	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
22,418	22,418	17,934	4,484	0										
渡名喜村 22,418千円 → 工事請負費 22,418千円 → (株)光エンジニア 22,418千円 (生ゴミ処理装置設置工事)														

資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は一般競争入札により選定しており妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、見積りを徴取して積算しており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものか額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡名喜村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	多用途住宅整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-イ		
担当部課名	経済課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和10年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	安全・安心な生活を支えるインフラの整備		
事業内容	農漁業をはじめ多様な産業・各種団体職員等のための住宅を確保し、地域雇用の創出と定住人口の増加を図るため、集落内に集落景観に配慮した多用途住宅を整備する。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和11年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	25,000					
		(b)予算現額	6,985					
		(c)増減額(b-a)	-18,015	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0					
		A. 計(b+d)	6,985	0	0	0	0	
	B. 執行済額		6,985					
	うち交付金充当額		5,588					
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		執行率100%であり、計画とおり執行できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
	基本設計		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
		目 標	(3件)	()	()	()		
		実 績	3件					
		実施設計	目 標	(2件)	()	()	()	
	実 績		2件					
達成 状況 説明	多用途住宅の基本設計3件と多用途住宅の実施設計2件の委託業務を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R11年度)	
	基本設計の完了	目 標	()	(3件)	()	()	()	
		実 績		3件				
	実施設計の完了	目 標	()	(2件)	()	()	()	
		実 績		2件				
	【参考指標】 令和11年度成果目標 移住者28人	目 標	()	()	()	()	(28人)	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	基本設計・実施設計を令和7年2月28日までに完了した(執行率100%)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	基本設計3件・実施設計2件について、昨年度から那覇市在住の非常勤職員(技術職)を活用し、沖縄本島の受注業者との調整やリモート会議を行い、進捗管理に努め、令和7年2月28日までに完了することが出来た。	次年度以降、設計データを活用して住宅整備等を推進し、令和11年の事業効果発現に向けて、進捗管理を適切に行う。
今後の取り組み方針		
令和11年度の事業効果の発現に向けて、今後も那覇市在住の非常勤職員(技術職)による沖縄本島の受注業者との調整や、リモート会議の活用等を通じて、関係者間の意思疎通や情報共有を図り、各年度の事業の進捗管理を適切に行っていく。また、各年度の工事を2世帯分(1世帯住宅なら2棟、2世帯住宅なら1棟)ずつ、令和10年度まで平準化して実施することで、円滑な施工を促進し、全体の進捗を効果的に管理していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,985</td><td>6,985</td><td>5,588</td><td>1,397</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 渡名喜村 6,985千円 委託料 6,985千円 (株)宮平設計 6,985千円 渡名喜村多用途住宅整備事業基本設計・実施設計業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,985	6,985	5,588	1,397	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,985	6,985	5,588	1,397	0										
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務の支出先は、指名競争入札により選定しており妥当であった。 ○予算規模については、見積りを徴取して積算しており、適正な規模であった。 ○費用、使途については、精算段階で検査を実施しており、目標に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡名喜村										
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	5-①		観光振興整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-(ウ)		
担当部課名	経済課		事業実施 (予定)年度	平成27年度 ～ 令和8年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		観光客受入体制の整備			
		Ⅲ-1-(1)									
事業内容	アフターコロナ以降の観光客のニーズ等に応え、本村の魅力を再発掘するため、渡名喜村観光島計画づくり(仮称)を策定し、新たな観光振興政策を推進する。										
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和7年度)										
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	10,890								
		(b)予算現額	10,890								
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0				
		(d)繰越額	0								
		A.計(b+d)	10,890	0	0	0	0				
	B.執行済額		10,890								
	うち交付金充当額		8,712								
	次年度繰越額		0								
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
予算の状況の説明		執行率100%であり、計画とおり執行できた。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況							
				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度				
	渡名喜村観光島づくり計画の策定	目 標	(策定)	()	()	()					
		実 績	策定								
		目 標	()	()	()	()					
		実 績									
達成 状況 説明	令和6年度内での計画策定を目指し、契約期間内で策定完了できた。										
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R7年度)			
	渡名喜村観光島づくり計画の策定完了	目 標	()	(策定完了)	()	()	()				
		実 績		策定完了							
	【参考指標】 令和7年度成果目標:渡名喜村観光島づくり計画の中で、主要な観光整備事業数や観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	目 標	()	()	()	()	()	目標値設定 及び施策実施			
		実 績									
	進 捗 状 況 説 明	渡名喜村観光島づくり計画について、年度内に策定完了できた。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	職員による作業部会の立上げ、観光についての勉強会や、企画提案を行った。又、村民や、関係事業者等を交えての円卓会議を実施、取りまとめたご意見・結果を、協議会にはかり、計画についてご了承を得たことで、地域のニーズに対応した計画が策定できたと考える。	アンケートにおいては、村民だけでなく、村外、Webでも実施し、多くのご意見をいただき、本村が目指す観光島づくりの課題も見えたことで、官民連携した課題解決に取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
今回策定した「渡名喜村観光島づくり計画」を軸に、観光の課題を解決し、中長期的な観光振興施策を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>10,890</td><td>10,890</td><td>8,712</td><td>2,178</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,890	10,890	8,712	2,178	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,890	10,890	8,712	2,178	0										
渡名喜村 10,890千円 委託料 10,890千円 (株)ディー・プランニング 沖縄 10,890千円 渡名喜村観光島づくり計画策定業務														
資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、不用額も出ず適正な規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-											
資金の 使途の 流れ 点検 評価	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、本事業の仕様書に沿った事業目的に即し必要なものであったと判断した。											